資料３

（５）今後の進め方について

①　令和８年度協議会における航路改善計画策定の方向性について

１　フェリー（第二せきぜん）の老朽化への対応

　本航路を運航するフェリー（第二せきぜん）については、就航から23年が経過し、今後の安全・安定的な運航の担保が課題

２　計画策定の方向性（案）

　航路を将来にわたって安定的に維持するため、航路診断･経営診断などを行い、航路の現状と課題を把握・分析した上で、老朽化したフェリー『第二せきぜん』の更新も視野に、将来の欠損増大･経営破綻を回避するための利便性確保や経営安定化等に向けた取組の方針についてご協議をいただきたいと考えています。

② 航路改善計画に関するアンケートの実施について（報告）

１　目的

　調査対象地区住民・利用者のニーズを把握し、航路運営上の問題点とその原因分析等を行い、航路改善計画策定の基礎資料とするため

　※島しょ部（大島･伯方島･大三島･関前）住民対象の「しまなみ暮らし支援アンケート」にあわせて、関前地域住民を対象に実施

２　実施時期

　令和８年８月～９月中旬

３　主な設問

- 回答者属性
- せきぜん渡船の利用状況（利用頻度、利用目的、行き先など）
- よく利用する時間・港
- 乗船方法や車両積載の有無
- せきぜん渡船のサービスの満足度・要望
- 航路維持に対する考え方
- せきぜん渡船に求める役割
- 大三島ブルーラインの利用状況（岡村島住民対象）

③ 航路改善計画策定業務委託について（報告）

1　契約候補事業者

株式会社いよぎん地域経済研究センター

2　目的

せきぜん渡船航路改善計画の策定に向け、協議会での議論に必要となる資料を作成

3　主な業務内容

（１）航路診断調査

ア 航路の現状把握
イ 航路の運営状況等
ウ 航路運営上の問題点とその原因・分析等
エ 将来の需要予測・経営予測等
オ 経営診断

（２）航路改善計画(案)の策定

ア 航路改善のための具体的方策
イ 具体的方策における収支予測　等

（３）人員確保計画(案)の策定支援

（４）経営戦略(案)の策定支援

④ 今後のスケジュール（予定）

